

広報 **たかのす**

秋色深く

文化のかおり



'93

11/15



すわきくばすみれ (すみれ科)

◀ 雑種のすみれ (ひかげすみれ × ひごすみれ) で、本荘市の山で撮影。すみれは雑種が多い。

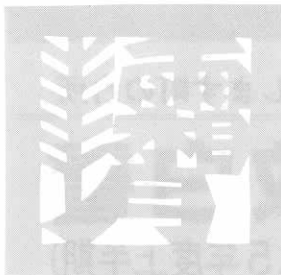


めなもみ (きく科)

▶ 花9～10月。茎に腺毛があって粘液を出す。日本全土に分布。

[佐戸岱 阿部達雄さん]

15・水	14・火	13・月	12・日	11・土 (閉庁)	10・金 人権デー	9・木 障害者の日	8・水 福祉のまちづくりワーキンググループ全体会	7・火 大雪	6・月	5・日	4・土 (閉庁) 人権週間(～10日)	3・金 東小学校落成式	2・木	1・水 歳末たすけあい運動・脱スバイクタイヤ運動推進月間	30・火	29・月	28・日	27・土 (閉庁)	26・金	25・木	24・水 県北地区障害児集団療育訓練交流会(広域交流センター)	23・火 勤労感謝の日	22・月 小雪 ホークスサミット首長会議(三鷹市)	21・日	20・土 (閉庁) 県北フライトシンポジウム(ファルコン)	19・金	18・木	17・水	16・火
------	------	------	------	--------------	--------------	--------------	-----------------------------	-----------	-----	-----	------------------------	----------------	-----	---------------------------------	------	------	------	--------------	------	------	------------------------------------	----------------	------------------------------	------	----------------------------------	------	------	------	------



11月
《霜月》

●11月「時雨」づくし
初時雨、朝時雨、夕時雨、小夜時雨、村時雨
北時雨、横時雨、月時雨、松風の時雨

〔表紙のことは〕



10月30日～11月3日までの5日間第25回鷹巣町文化祭が開かれました。たかのす風土館では音楽祭などが行われ、日頃の練習の成果が発表されました。また、町内小・中学校の高学年の児童や生徒も鷹巣小学校を会場に開催された教育文化祭に参加し、学芸発表や社会・理科発表を行いました。

(写真は東小児童による太田番楽、10・11面に関連記事)

人口と世帯数	10月31日現在
	住民基本台帳による

総人口	23,422人 (1人増)
男	11,260人 (3人増)
女	12,162人 (2人減)
出生	20人 転入 35人
死亡	17人 転出 37人
世帯数	7,403世帯 (7世帯増)

カルチャー&スポーツ



ワァルコン

11・15(月) 直木賞作家 西木正明氏文化公演会 14:00～
入場無料

主催: たかのす風土館、風土記の会

11・20(土) 県北フライトシンポジウム 13:30～16:30
入場無料

主催: 秋田県、大館能代空港建設促進期成同盟会

11・21(日) 映画「クレヨンしんちゃん・水の旅人」
1回目 10:00 2回目 13:40 3回目 17:40
入場料 大人 1,000円 こども 800円

11・22(月) ふるさとの産業を学ぶ会 13:00～
※入場: 関係者

主催: 鷹巣阿仁広域市町村圏組合

11・28(日) たかのす讃歌発表会 13:30～
入場自由

主催: 鷹巣町教育委員会

12・10(金) 音楽の冗談コンサート (唄とトーク: 斎藤晴彦、
新井純) 18:30～

入場料: 全席自由一般 1,500円/小・中・高生 800円

※詳しいことは、ワァルコン (☎62-3311) まで

中央公民館

11・17(水) リハビリ学級15周年記念大会

11・21(日)22(月) 鷹巣華道会展

11・27(土) 鷹巣町花いっぱい運動10周年記念式典祝賀会
13:00～16:00

12・5(日) 公民館まつり

スポーツ

11・20(土)21(日) 県北中学校新人バスケットボール大会
(体育館)

11・28(日) 第31回町民卓球大会 (ク)

町の財政事情はどうなっているのでしょうか。
町民の皆さんに町の財政事情を知っていただく
ために、毎年2回、一般会計、特別会計の執行
状況を公表しています。
11月1日に平成5年度上半期（5年4月1日～
9月30日）の結果が公表されましたのでお知ら
せします。

お知らせします町の台所

財政白書

(平成5年度上半期)

一般会計執行状況

項 目	予 算	2 億	4 億	6 億	8 億	10億	15億	30億
地 方 交 付 税	3,553,569千円	27億4,127万 9 千円 (77.14%)						
町 税	1,693,805千円	10億4,904万 7 千円 (61.93%)						
国 庫 支 出 金	992,615千円	1 億5,188万 9 千円 (15.30%)						
県 支 出 金	610,223千円	1 億873万 5 千円 (17.82%)						
町 債	522,200千円	150万円 (0.29%)						
諸 収 入	395,360千円	3,573万 5 千円 (9.04%)						
繰 入 金	265,592千円	0 円 (0%)						
地 方 譲 与 税	194,000千円	4,920万 2 千円 (25.36%)						
繰 越 金	175,251千円	3 億6,308万 8 千円 (207.18%)						
その他（使用 料、分担金等）	379,066千円	1 億6,610万 4 千円 (43.82%)						

歳 入

予 算
87億8,168万 1 千円
収入済額
46億6,657万 9 千円
収入割合
53.14%

教 育 費	2,478,252千円	9 億8,644万 5 千円 (39.80%)						
民 生 費	1,387,023千円	5 億2,916万 2 千円 (38.15%)						
総 務 費	981,297千円	4 億6,348万 2 千円 (47.23%)						
公 債 費	774,589千円	3 億8,165万 1 千円 (49.27%)						
農林水産業費	720,910千円	3 億2,342万 6 千円 (44.86%)						
土 木 費	675,009千円	2 億2,235万 3 千円 (32.94%)						
衛 生 費	480,206千円	2 億 5 万 2 千円 (41.66%)						
消 防 費	304,250千円	1 億7,130万 5 千円 (56.30%)						
商 工 費	252,080千円	1 億8,682万 1 千円 (74.11%)						
その他(災害復旧 議会、労働費等)	728,065千円	1 億4,241万 3 千円 (19.56%)						

歳 出

予 算
87億8,168万 1 千円
支出済額
36億711万円
支出割合
41.08%



急ピッチで建設工事が進む鷹巣中学校

町民の負担状況（9月末現年度分調定額から）

直 接 税	町民税個人分	741,320千円	町民1人当たり	1世帯あたり
	町民税法人分	83,765	70,652円	223,734円
	純固定資産税	805,997		
	軽自動車税	23,653		
	合 計	1,654,735		

間 接 税	町たばこ税	49,718千円	2,123円	6,722円
-------------	-------	----------	--------	--------

（9月末人口 23,421人、世帯数 7,396世帯）

国民健康保険税	6億778万8千円	75,082円	167,944円
---------	-----------	---------	----------

（9月末加入保険者数 8,095人、加入世帯数 3,619世帯）

特別会計執行状況

（単位：千円）

合 計 区 分	予算現額	収入済額	収入率（%）	支出済額	執行率（%）
国民健康保険事業	1,450,245	636,008	43.86	594,550	41.00
老人保険事業	1,943,368	821,987	42.30	813,648	41.87
簡易水道事業	133,787	62,316	46.58	50,645	37.85
と畜場事業	32,125	14,757	45.94	13,852	43.12
土地取得事業	4,327	0	0	0	0
下水道事業	502,300	63,000	12.54	103,262	20.56
学校給食事業	250,124	105,051	42.00	102,465	40.97
老人訪問看護事業	13,448	4,979	37.02	1,277	9.50
財産区（坊沢・綴子・栄・七日市）	9,118	118,277	1,297.18	477	5.23
合 計	4,338,842	1,826,375	42.09	1,680,176	38.72

《鷹巣町福祉のまちづくり》

特別講演会と シンポジウム(つづき)



『福祉は実践なしには語れない…』

前号に引き続き10月17日(日)、たかのす風土館(ファルコン)で行われた「鷹巣町福祉のまちづくり特別講演会・シンポジウム」の様をお伝えします。前号ではアンデルセン氏の講演内容を要約してご紹介しましたが、今号では「福祉行政 デンマークと日本」をテーマに行われたシンポジウムの内容についてその要旨をご紹介します。

福祉のまちづくり懇話会と
ワーキンググループについて

コーディネーター(大熊氏) まず、この町の福祉のまちづくり懇話会の基本的な考え方について伊東会長さんにかがいます。

伊東氏 「デンマークのように、住民参加型の福祉のまちづくりを進めるのがいいと思った。懇話会は専門的なアドバイスをするのみで、住民が自分たちで何ができるかを考えることが基本となっている」

田舎の福祉の 先がけに

(町のこれまでの取り組みに
対する各パネリストの感想)

佐々木氏 高校生などのボランティア活動や、当町の福祉のまちづくりに関する新聞の投書を紹介しながら「私たちの社会はお互い助け合おうという気持ちや連帯感がある。秋田県の場合特にそれが強く、中でも鷹巣町は先進的な取り組みをしている」
谷口氏 「住民のニーズを汲み上げるとよく言われるが、実際は難しい。行政の主人公が住民ならば、汲み上げるのではなく聞かせてもらうのではない。老人保健福祉計画に住民

のニーズを反映させてほしいし、住民が行政に参加することで住民自身も自分たちの意見に責任を持つことが必要。県全体ではまだ在宅サービスへの抵抗があるが、鷹巣町においては在宅サービスの供給が需要を促すよう期待したい」

阿部氏 「国の支援を心配する必要はない。ゴールドプラン（高齢者保健福祉計画推進十カ年戦略）は、ホームヘルパーや施設などの数の問題ではなく、各市町村が自ら実践することが大事でありそれによって町自体が変わっていくことを期待したい。自らの知恵と実践は守るべきであり、現在の住民参加型の福祉の取り組みを線香花火で終わらせず、田舎の福祉の先がけになるよう自信をもって推進してほしい」

ボランティアの基本は家庭から

（会場からの発言）

第八ワーキンググループ員（老人・身障者にやさしい住宅）「机上の知識が現場に必ずしも合ったものではなく、高齢者の住宅をみても建築様式に不便な箇所が多い。グループの提案で、町営住宅に手すりがつき、役場庁舎玄関の段差が解消され自動ドアになってうれしい」

第一ワーキンググループ員（ボランティア活動の実践）「住民のニーズがどんな小さなことでも実現されるということがわかった。既存の施設をもっと活用すべきだと思う」、九月に東京で開かれた全国老人保健福祉大会に岩川町長がパネリストとして出席したことにふれ、「全国から町の福祉の取り組みが注目され、町民として非常に誇りに思うが心配なことがある。福祉のまちづくりが全国から注目されている以上、もう後には引けない。線香花火で終わらないよう町民の皆さんがワーキンググループをバックアップして理解してほしい」

第一ワーキンググループ員（ボランティア活動の実践）



阿部 正徳氏
厚生省大臣官
房審議官

ティア活動の実践）「ボランティア精神を養うためには、家庭の中で家族が助けあうことからはじめるべきで、そうしなければ社会にも広がらない。自分でできることをするのがボランティアであり、させていたただくという精神を学びつつ取り組んでいかなければならない」

第四ワーキンググループ員（マンパワーの利用拡大）「在宅サービスを利用したくてもできないというのは地域性もあり、他人に家をのぞかれたくないという気持ちがあるのは当然。しかし切羽詰まってどうにもならなくなる前に助けなければならず、そのためにもお互いの信頼関係を築くことが必要」

男性ホームヘルパー 「学生時代、現場実習を体験して感動し現場に携わりたいと思った。他人に家の中を

のぞかれるのはいやだということであっても、対象者は本当に何について困っているのかを見極めたうえでヘルパーを派遣することが必要。町民がこの町に住んでよかったと思えるように、福祉が充実していくだろうと実感している」

老人訪問看護ステーションの保健婦「関係者の協力で一つひとつのケースを大切にしている」、「八十二歳のあるお年寄りは糖尿病で自分で動けず、床ずれもありおむつをして生活している状態。会話も不可能で肩をたたきながら名前を呼ぶと反応するだけだが、介護者の娘さんは必ず話かけながらお世話するのをみて感心した。ある時握手しようとしたら手を伸ばしてきたことがあり、心が通じたような気がした。科学では説明のつかない人間の偉大さをみた思



阿部 正徳氏
厚生省大臣官
房審議官

いで、寝かせきりにする恐ろしさ、そうさせない手助けが必要だと痛感した」

町議会議員 「デンマークのような福祉の水準に達するためには、まだまだ時間がかかると感じた。だが、立派なモデルがあるのだから時間は短縮できるものと思う。住民の取り組みに負けないよう議会もがんばりたい」

予防型福祉への理解を

（各パネリストから
今後に向けてのアドバイス）

阿部氏 「福祉は実践しなければ意味がない。国へ要望するだけではなく、地域で実践する福祉を考えてほ



しい」

谷口氏 「どうにもならなくなつてからホームヘルパーを要請するケースが多い。福祉の分野ではその傾向があるようだが、事前に防ぐことが必要であり、福祉の基本となるものではないか。公衆衛生の分野でいう「予防」の意味を福祉の分野でも理解してほしい」

佐々木氏 「ホームヘルパーを受け入れることへの抵抗感は福祉政策との関連がある。抵抗なく受け入れられるようになることが意識改革につながる。福祉の大切さは以前から言われてきたが、福祉政策への取り組みが消極的だったと思う。施設をつくるだけでは福祉は解決せず、さらに地域が一体となって取り組んではいけない」

情報を有効に利用 することが必要

（アンデルセン氏の感想）

「鷹巣町の取り組みを聞いて日本の地域の中には住民の資源やエネルギーがあると感じた。一番のポイント是要介護高齢者がいる家庭で、その介護者を支援することが必要。家族に介護の知識を教えたり、補助器具を与えたりすればかなり良くなるはずだし、ヘルパーや看護婦などが助けになることで寝たきりの問題も解決できる。そして国・自治体としても大した負担にはならない。」

「日本でそれができないのは、その可能性や情報を知らないからだ。「恥」を解決するには二つの方法が



考えられる。一つは、マスコミを利用すること。そしてもう一つは、同じような立場の人たちが同じレベルでアドバイスし合うこと。専門家の指示ではかえって混乱するはず。例えば、ボランティアの情報活動などいいのではないか」

（伊東氏・大熊氏のアドバイス）

伊東氏 「住民と行政の信頼関係をつくるには情報が通じ合うことが大切」「デンマークの自治体で年一回実施しているような住民と行政の交流会を鷹巣町でも開催すればいいのではないか」

大熊氏 「大卒の男性ヘルパーはデンマークにたくさんいるが、日本にはあまりいない。この町には二人も男性ホームヘルパーがいるので、ホームヘルパーを大事にしていると感じた」「住民と行政が一体となった福祉のとり組みが全国から注目されている。デンマークのように、町民が主人公だということを基本にして、全国にいる老後に不安を感じている人たちに夢をもたらしよう今後の取り組みに期待する」

デンマークの福祉をどのように当町の福祉のまちづくりに生かせるか考え合った貴重なシンポジウムとなりました。

町長日誌

10/16～31

17日(日)「福祉のまちづくり」特別講演会・シンポジウムに出席、開会のあいさつ。その後デンマーク元福祉大臣のアンデルセン氏による講演及び朝日新聞論説委員の大熊由紀子氏はじめ厚生省大臣官房審議官の阿部正俊氏など福祉の専門家によるシンポジウムに参加。

町内外約六百人の聴衆とともに、町の福祉のあり方について考え合った。(ファルコン)

18日(月)「福祉のまちづくり」ワーキンググループ中間報告会に出席、「住民と行政が考えをすり合わせ、一緒になって取り組みたい」とあいさつ。(交流センター)

21日(木)～22日(金)第4回高齢者ケア国際シンポジウムに出席。(東京)

23日(土)鷹巣町大阿仁会発足35周年記念式典に出席、あいさつ。(交流センター)

23日(土)社会福祉協議会主催のふれあい広場に出席、あいさつ。(中央公民館)

25日(月)全国林道維持管理コンクール表彰授賞式に出席。林道前山滝の沢線が全国876点の応募の中から県内第一号(全国3ヶ所)の農林水産大臣賞に輝いた。(東京)

28日(木)北秋田郡・鷹巣町社会福祉研修大会に出席。(ファルコン)

30日(土)鷹巣町特産品アイデアオリンピック'93授賞式に出席。全国から応募された184点の中から金賞の藤本英夫さん、成田知枝さん(糸ぐるま代表)外、部門別に銀賞、銅賞、佳作の受賞者を表彰した。(ファルコン)

町内3カ所に交通安全塔を設置



【設置箇所】

- ①七日市吉野地内
国道105号線路肩：下り車線
(森吉町境付近)
- ②小森字湯ノ岱地内
国道285号線路肩：下り車線
(比内町境付近)
- ③脇神字湯車地内
県道鷹巣川井堂川線路肩：下り車線
(森吉町境付近)

このほど鷹巣警察署では急増する交通死亡事故を防ぐため、町内の三カ所に高さ一・八m、幅〇・六m、脚部一・〇mの交通安全塔を設置しました。
この交通安全塔の設置は北秋田土木事務所(所長 小田内富雄)の協力を得て実現したもので、看板の入れ替え作業が容易にできるカートリッジ方式になっていることから、今後季節に合った交通安全広報や町の行事などの案内にも活用される予定です。

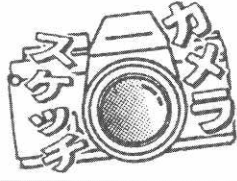


このトレーニングウェアは、日中でも気軽に違和感なく着用できるように同色の反射材を利用しており、高齢者だけでなく子供や若年層にも利用できるものと関係者から関心が寄せられています。

さる10月21日、男鹿市で「交通安全シルバートファッシュショー」が開催され全県各地から20点が出品された中、鷹巣町から出品された『交通安全トレーニングウェア』(グリーンメイトジャパン協賛)が見事優秀賞に輝きました。

町より
出品の『交通安全トレーニングウェア』
優秀賞に輝く!!

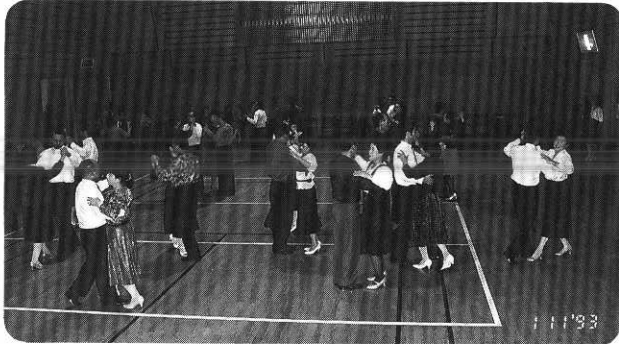
地域に広がる文化



10月30日～11月3日

第25回 鷹巣町文化祭

広域交流センター会場

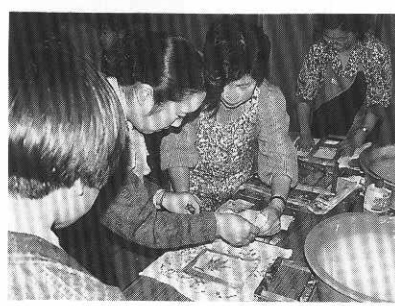
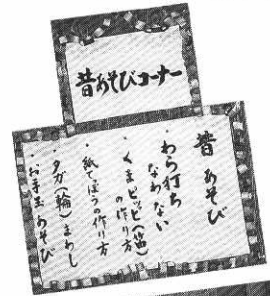


「ダンスのタベ」は3日間にわたり愛好者たちが軽快なステップを楽しみました



家族づれで人気の「手づくり村」

第二十五回鷹巣町文化祭が、十月三十日から十一月三日までの五日間にわたり盛大に開催されました。例年同時開催の産業祭は冷害による不作などの理由で中止になりましたが、「ゆとり・稔る文化・この秋」をテーマに行われた今年の文化祭は、好天にも恵まれ各会場とも大勢の人たちで賑わいましたので、その模様をご紹介します。なお、協賛行事として十五日は直木賞作家西木正明氏の文化講演会、二十八日にはたかのす讃歌発表会も行われます。



リサイクルコーナーでは葉書や色紙づくり



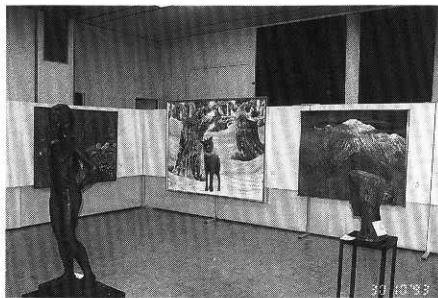
▲「こうして切るんだよ」「ウーきれい！早く私もやってみよう」

中央公民館会場

展示のメイン会場では、秋田現代美術展、俳句展、日本画展、洋画展、生涯学習展、健康展と盛りだくさんの内容でした。



▲今年も人気の若妻食堂

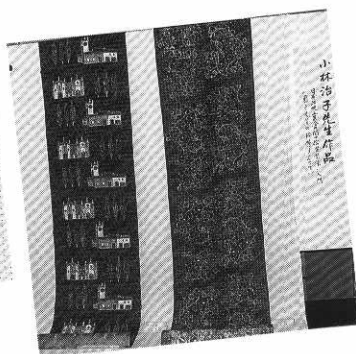
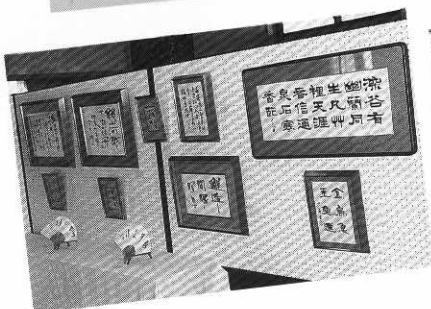


たかのす風土館会場

民謡まつり、邦雅祭、音楽祭、エントランスホールでは幼児の作品展で賑わいました



みちのく子供風土館会場





町特産品
オリンピック
一八四件のアイディア

— 二十二都道府県から応募 —



町が全国から募っていた特産品アイディアオリンピック'93の授賞式がこのほどたかのす風土館で開かれ、審査の結果大賞に該当するアイディアはなく次回に期待する形となったものの、各部門で金賞は地元勢が獲得し、町民の関心の高さをうかがわれました。

アイディアオリンピックは、町の特産品開発に広く全国からアイディアを募ろうとしたもので、六

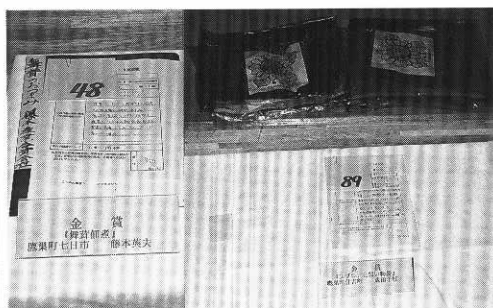
月から九月の締め切りまで全国二十二都道府県から百八十四点の応募がありました。

審査委員長の秋田経法大近藤教授は「残念ながらグランプリとなるアイディアはなかったが、地元の資源を加工し他の地域にないものを生み出すという視点が大事」と今後の奮起を求めました。

審査結果

「食べられる部門」▽金賞Ⅱ 舞茸つくだ煮・藤本英夫（七日市）▽銀賞Ⅱ大豆せんべい・松尾フミ（太田）「食べられない部門」▽金賞Ⅱエブロン

と買ひ物袋・糸ぐるま（成田知枝代表）▽銀賞Ⅱみちのく花器・佐藤毅（旭町）



町芸術文化奨励賞が贈られる

— 11人が晴れの受賞 —

「文化の日」の十一月三日、鷹巣町芸術文化奨励賞の授賞式がたかのす風土館で開かれ、芸術、文化の各方面で著しい活躍が認められた十一人の方々が受賞しました。

式では岩川徹町長が「町民自らが文化を考え、実行しようとしている。今後皆さんが町の文化振興のため精一杯努力されるよう期待する」とあいさつし、受賞者を代表して俳句の山城勇幸さんが「これを機に更に精進し、自分のできる面で活躍できるよう励んでいきたい」と謝辞を述べ、受賞の心境

を「秋天や ずしりと重い 賞受けて」と詠んでいました。

同賞に輝いた方々は次のとおりです。

▽鈴木睦子Ⅱ洋画（松葉町）▽岩本容子Ⅱ洋画（住吉町）▽成田克憲Ⅱ洋画（舟見町）▽長澤龍樹Ⅱ洋画（前山）▽三沢恵Ⅱ洋画（田中）▽岩川征丸Ⅱデザイン（大町）▽成田トヨⅡ日本画（東横町）▽千葉行雄Ⅱ洋画（中屋敷）▽齊藤怜子Ⅱ詩（材木町）▽山城勇幸Ⅱ俳句（七日市）▽畠山チサ子Ⅱ大衆芸能・民謡（宮前町）

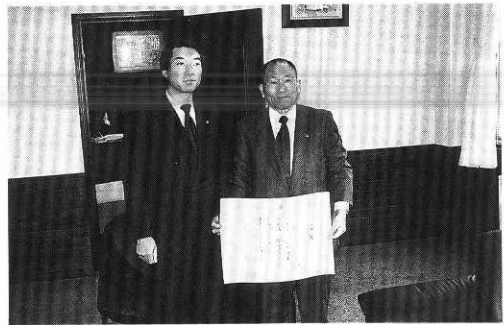
農水省局長表彰に輝く

―鷹巣土地改良区長谷川理事長―

先月滋賀県大津市で開かれた、全国土地改良事業団体連合会主催の第十六回大会で、鷹巣町土地改良区の長谷川正理理事長（栄字太田）が栄えある農林水産省構造改善局長表彰に輝きました。

同理事長は、太田堰土地改良区理事長をはじめ、昭和四十六年からは五土地改良区が

合併して誕生した鷹巣町土地改良区理事長を務め、向黒沢地区の県営圃場整備、坊沢地区の排水特別事業にかかわるなど、長年にわたる土地改良事業の実績が認められたもので、全国で十六氏、本県ではただ一人受賞されました。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



向黒沢に農村公園が完成

―十一月八日喜びの祝賀会―

町が農村総合整備モデル事業で向黒沢地区に建設を進めていた農村公園が完成し、十一月八日地元自治会が待望の竣工祝賀会を開催して喜び合いました。

農村公園は、山間部の集落などに整備して農業従事者や地域住民の連帯意識を高めることが狙いで、これまで蟹沢地区にも建設されています。

向黒沢集落の入口付近に完成した同公園は、面積が約千三百五十平方メートル、総事業費が千五百万円、花壇、水飲み場、ベンチ、トイレのほか鉄棒、ブランコ、滑り台、バスケットボールリングも配置されており、子どもの遊び場からお年寄りのゲートボール場まで世代間交流の場としても期待されています。



空港予定検査機が飛ぶ

―運輸省が飛行調査行う―

さる十一月四日、運輸省は大館能代空港建設予定地の空域で、実機飛行調査を実施しました。

同調査は空港周辺の地形や障害物などを上空から確認するもので、空港設置に必要な調査として行われたものです。建設予定地では長さ二千二百二十メートル幅三十メートル

を着陸帯に見立て、四カ所にバルーン（風船）をあげ空港の全体像が分かるようにしたあと、約二時間にわたってフライトチェックを行いました。検査機が町の上空を旋回する姿に、町民の間からは「空港は順調に進んでいるんだネ」「早く開港してほしいネ」などの声が聞かれました。





健康広場



福祉保健課からのお知らせ

保健婦からのメッセージ

母乳を飲ませましょう

「母乳」、それは赤ちゃんにとって最も理想的な食品なのです。

特に「初乳」(分娩後七日くらいまでの黄色っぽい母乳)には、母親の血液に含まれているいろいろな免疫物質がたくさん含まれているので、飲むと感染に対する抵抗力が強くなります。またカロリーが高いので少量でも赤ちゃんに必要なカロリーを補うことができます。

さらに、初乳は緩下剤の役割もはたし胎便の排泄に大切な役目をします。

母乳は常時適温です。しかも直接乳房から飲むので細菌感染の心配ありません。またビタミンCや酵素などもたくさん含まれており、消化もよいです。

また、赤ちゃんの母親に抱かれた時の精神的満足感、何事にもかえがたいものです。

●母乳を出すコツ

母乳は赤ちゃんに吸われることによって、出る量が増えます。出産後一〜二週間は、ミルクを出さず母乳でがんばってみてください。

母乳をたくさん出すには、いつでもどこでも赤ちゃんが要求した時に乳首を吸わせることです。こうすると、夜の授乳でおかさんは睡眠不足になりがちなので、赤ちゃんと一緒に昼寝をしたり、おとうさんの協力を求めるなど生活の工夫も大切です。

社会福祉協議会が
(広域交流センター内)

11月27日(土)

中央公民館分館
(旧鷹小)に移転します。

◆お問い合わせは……
社会福祉協議会
(☎63-2109)まで

<移転先案内図>



お知らせ

戦没者等の妻及び父母等の皆さまへ

―特別給付金が継続支給されます―

特別給付金の最終償還を終えた戦没者等の妻及び父母等に改めて特別給付金が支給されます。第十回特別給付金「い号」国債を受けられた戦没者等の妻に、額面百八十万円の特別給付金が支給されます。第十四回特別給付金が支給されます。

請求手続及び内容の詳細につきましては、☎六二一一一一(内線一三六)までお問い合わせください。

11月の健康ごよみ

■18日(木)

○三種混合予防接種

対象—鷹巣地区以外に在住する生後24～48カ月のお子さん

受付—午後1時～2時

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳

■19日(金)

○三種混合予防接種

対象—鷹巣地区に在住する生後24～48カ月のお子さん

受付—午後1時～2時

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳

■22日(月)

○母子健康手帳交付と

第1回妊婦教室

受付—午後1時～1時20分

(妊婦教室終了は3時)

場所—中央公民館保健相談室

持参—印かん

◇希望者には、終了後個人相談に応じます。

■24日(水)

○健康相談と健康教育

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時

午後1時～3時

内容—腎臓病を予防する日常生活

■30日(火)

○4カ月児健康診査

対象—平成5年7月生まれ

受付—午後1時～1時15分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳・バスタオル

○7カ月児健康相談

対象—平成5年4月生まれ

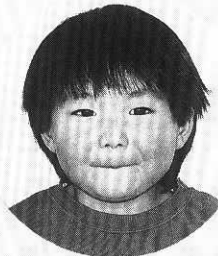
受付—午前9時30分～9時45分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳・バスタオル



中屋敷
こんどう ひろとちゃん



七日市本郷
ぬのた まいこちゃん



南鷹巣
ひらかわ みかちゃん



新田中
ささき あゆみちゃん

夜間当番医(夜間診療)日程表 (午後6時30分～9時)

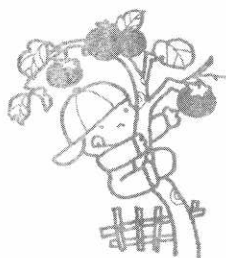
・応急の診療を要する患者。
・往診はしておりません。
・仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診

※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。
療に応じかねます。

11月	曜日	医 療 機 関 名	電話番号
16	火	近 藤 医 院	62-1155
17	水	奈 良 医 院	62-1146
18	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
19	金	藤 原 医 院	62-2882
20	土	と し ま 医 院	62-1267
21	日	戸 嶋 産 婦 人 科 医 院	62-1123
22	月	佐々木産婦人科医院	63-0105
23	火	と し ま 医 院	62-1267
24	水	近 藤 医 院	62-1155
25	木	奈 良 医 院	62-1146
26	金	佐藤外科消化器科医院	62-1420
27	土	北 秋 中 央 病 院	62-1455
28	日	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
29	月	藤 原 医 院	62-2882
30	火	佐々木産婦人科医院	63-0105

暮らしの情報

INFORMATION



年金受給者

講習会

新たに老齢年金を受給することになった方々を対象に、年金を受給しはじめた後の諸手続きなど年金受給者が必要とする初歩的な基礎知識の学習を目的として、講習会が行われます。

▽日時 十一月十九日(金)

(受付)午後一時～

▽場所 広域交流センター

▽内容 受給後の手続き、講演、血圧測定、年金相談、友の会加入受付

農家の皆さんへ

町では申告相談を二月上旬より予定しております。共同施設による負担金は申告時に

必要経費として控除することができます。

昨年提出していただいた方には用紙を送付しておりますが、今年新たに始められた方や昨年提出しなかった方には用紙を送付できませんので、十一月末日までに経費の領収書・償還金年次表・購入証明書等を添付し、税務課町民係まで提出してください。

届出用紙は町民税係に準備してあります。

※お問い合わせは、役場税務課町民税係(☎六二一・一一一、内線一六二・一六三)まで。

人権相談

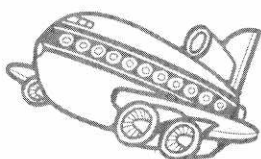
人権週間(十二月四日～十日)にちなんで、人権相談所が開設されます。

日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、困りごとや心配ごとがありましたらお気軽においでください。

親子、夫婦、扶養、借地、借家、名誉、信用、差別、私的制裁、いじめ、体罰などの問題の相談に応じます。

県北フライトシンポジウム

～空港・新たな出発～



11月20日(土)午後1時30分～ / たかのす風土館

(ファルコン)

●講師 井上 繁氏

(日本経済新聞社論説委員)

●コーディネーター 清水浩志郎氏

(秋田大学鉱山学部教授)

●主催 秋田県、大館能代空港建設促進

期成同盟会、鷹巣阿仁広域市町村

圏組合、米代川流域地方拠点都市

地域整備協議会

●パネリスト 萱嶋 源一郎氏

(エアフロンティア研究会専務理事)

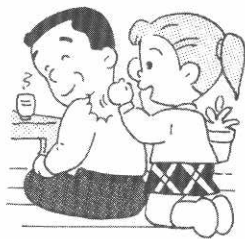
押切 光久氏 (庄内経済連 園芸特産課)

高橋 昭三氏 (アキタ電子(株)総務部長)

宮沢 裕氏 (財)日本交通公社調査部

観光計画室長)

三浦 智子氏 (秋田内陸縦貫鉄道(株))



▽日時 十二月六日(月)

午前十時～午後三時

▽場所 中央公民館

▽相談担当者 人権擁護委員

法務局職員

▽主催

大館人権擁護委員協議会

秋田地方法務局大館支部

※相談は無料で、秘密は固く守られます。

町民バレーボール大会 参加チーム募集

バレーボールを通じて町民の体力向上をはかり、広く底辺拡大と普及につとめる目的で、今年も第五回町民バレーボール大会が開催されます。

▽参加資格

鷹巣町に住所を有する方、または勤務する方。(男子の部においては、職場単位のチーム、バレーボール未経験者の多いチームを二部とする。詳しくは監督会議で)

▽種目

(一)男子九人制の部 (二)女子九人制の部 (三)ソフトバレー

ボールの部

▽日時

十一月二十九日(月)～十二月三日(金) いずれも午後六時三十分試合開始

▽場所

鷹巣体育館

▽申込先

十一月二十四日まで体育館または役場水道課高橋まで

「ソフトバレーボールについて」最近、全国大会が開催されるなどレクリエーションスポーツとして普及しつつある種目で、四人一組のチームでつき指のないゴムボールで行います。年齢性別自由にチーム編成のうえ参加ください。(小・中PTA単位大歓迎)

香典返し

このほど次の方々から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽黒沢 大川佐吉郎さんから亡母サトさんの香典返し

▽坊沢 大町 長崎勇美さんから亡母サンさんの香典返し

▽七日市大畑 柴田博さんから亡父喜代志さんの香典返し
▽川口 中嶋チエさんから亡夫實さんの香典返し
▽前山 野呂重徳さんから亡母フツさんの香典返し

慶弔だより

10月16日～31日

誕生おめでとう

ございます



石上 隆大(隆行) 長男 東横町

中嶋 健太(健) 長男 三吉町

近藤 葵(匡子) 二女 大町

佐藤 美知代(恵子) 三女 葛黒

三沢 成潤(昭成) 長男 田中

堀部 澄恵美(淳子) 長女 葛黒

鎌田 祥平(久美子) 長男 掛泥

宮腰 泉(貞子) 二女 品類

齊藤 朱邑(邦彦) 長女 旭町



二人の前途を祝福いたします

籾内 守 今 泉
岩谷 貴子 掛 泥

おくりやみ申し上げます

津谷 ミサ(83歳) 緑ヶ丘
大川 サト(80歳) 黒沢
成田 竹松(96歳) 東横町
櫻庭 喜三郎(65歳) 蟹沢
佐藤 トミ(86歳) 葛黒
成田 聡一郎(90歳) 宮前町
小塚 武雄(77歳) 堂ヶ岱
野呂 フツ(92歳) 前山
籾内 スワ(85歳) 今泉
村上 優(16歳) 元町

保険税 5期
個人事業税 2期
納期限は 11月30日です



お知らせ

「住みよい福祉のまちづくり事業」(国の補助事業)で備えた

福祉補助器具をお貸しします

「補助器具があれば、もう寝たきりじゃない!

さあベッドから起きてみよう!!」



＜ベッド4台＞

さまざまなケアや治療に最適な機能をもつベッド
マットレスは通気性がよく、冬暖かく夏はさわやかです



＜リフター4台＞

ベッドからの移動、入浴などだれでも簡単に
操作でき、介助の負担をグーンと軽くします



＜車イス5台＞

片手で楽に運べるアルミ製(12kg) 背もたれ
上部が折りたたむので車への積み込みにも便利

どうぞ
ご利用ください



＜スーパーギャリー5台＞

身障者やお年寄りの散歩や移動にとっても
便利、しかも8.7kgととても軽量



家の中だけでなく

時には外出も……

機能回復や気分転換にも

「動く」ことが基本です

お申し込み・お問い合わせは
福祉保健課福祉係まで

☎62-1111 (内線136・137)